

議事録

審 議 会 等 名	つくばみらい市下水道審議会
開 催 日	令和 7 年 1 1 月 1 8 日（火曜日）
開 催 場 所	つくばみらい市役所谷和原庁舎 2 F 第 2 会議室
出 欠 者	出席委員 間根山知己、石野一男、稲葉純子、木田裕通、栗田節子、 嶋田博美、鈴木恵子、中島一郎、野村俊光、大好三智子 欠席委員 秋田政夫、太田真由美 市出席者 関都市建設部長、飯田上下水道課長、野口課長補佐、中村 課長補佐、広瀬主査、諏訪主事
議 事	報告事項 令和 6 年度下水道事業会計決算について
議 案 概 要	1 開会 午後 1 時 3 0 分 2 会長あいさつ 3 都市建設部長あいさつ 4 報告 ○報告事項 令和 6 年度下水道事業会計決算について ・事務局より、資料をもとに説明を行い、委員からの質疑・意見は次のとおりであった。 【質疑】 委 員 下水の整備状況 8 8 % という説明があったが、あと 1 2 % の長期的な整備計画はあるのか。また古くなった下水道管の長期的な整備計画はあるのか。 事務局 未整備地区の整備計画について、現在は鬼長地区の管渠整備を進めている。また現在下水道の認可に入っているが未整備である地区としては宮戸地区等がある。費用対効果を含め慎重に審議をしながら、整備については進めていきたいと考えている。 また、古くなった下水道管への対応について、まずは八潮市での事故を受けての緊急点検を今年の 2 月 5 日から 2 月 7 日にかけて実施した。また、国からの要請を受けて西ノ台や絹の台地区の雨水管の管渠について目視による調査を 1 2 月に実施予定である。その他管渠については平成 2 7 年の下水道法の改正により創設された維持管理基準に則り適切な時期に点検を実施している。

	委 員 中長期的な管渠の更新計画はどのようになっているか。 事務局 スtockマネジメント計画を作成して準備を進めている。 委 員 雨水管では硫化水素発生心配はないのか。 事務局 汚水への微生物による反応により硫化水素が発生するので、基本的に雨水管では硫化水素の発生はないと考えている。汚水管の中でも圧送管の開放口が硫化水素の発生しやすい場所となっており、そういった場所は国からも要請があり、5年に1度の点検を実施している。 委 員 雨水管と汚水管はどのような関係で布設されているのか。 事務局 雨水管が布設されているのは主に絹の台地区・みらい平地区である。同じ道路上に高さが異なり布設されているところもあれば、汚水管のみ、雨水管のみが布設されている道路もある。 委 員 絹の台地区・みらい平地区以外は汚水管に雨水が入るとのことか。 事務局 汚水管に雨水が流入すると汚水処理量が増え費用がかかってしまうため、極力汚水管には雨水は入らないように整備している。 5 その他 ・特になし 6 閉会 午後2時00分
配 付 資 料	・令和6年度下水道事業会計決算について ・令和6年度下水道事業会計決算書
そ の 他	

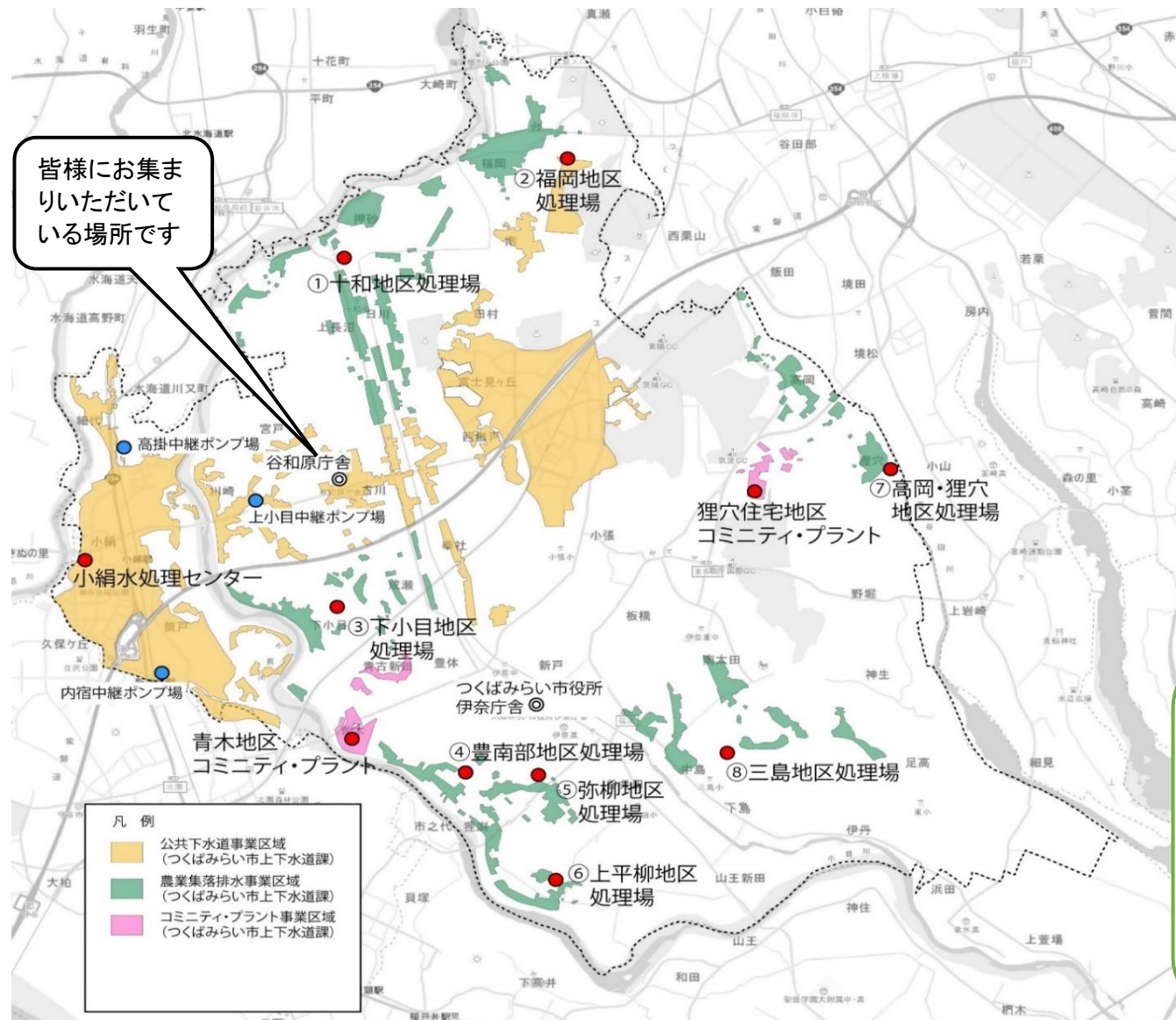
令和7年度第1回つくばみらい市下水道審議会資料

令和6年度下水道事業会計決算について

＜決算概要資料＞

- 1 つくばみらい市の下水道事業計画区域
- 2 業務状況について
 - (1) 排水処理区域内人口、接続戸数
 - (2) 年間排水量、年間有収水量、有収率
- 3 経営状況について
 - (1) 官公庁会計と公営企業会計
 - (2) 下水道事業（公共下水道事業、農業集落排水事業）収益的収支・資本的収支
 - (3) コミュニティ・プラント事業 歳入・歳出
 - (4) 決算状況資料
 - (5) 経営指標
- 4 事業概要について

1 つくばみらい市の下水道事業計画区域



公共下水道事業

小絹地区
みらい平地区及びその周辺地区
福岡南周辺
田村地区
谷原地区(農集排水事業地区除く)

農業集落排水事業

- ①十和地区
- ②福岡地区
- ③下小目地区
- ④豊南部地区
- ⑤弥柳地区
- ⑥三島地区
- ⑦高岡・狸穴地区
- ⑧上平柳地区

コミュニティ・プラント事業

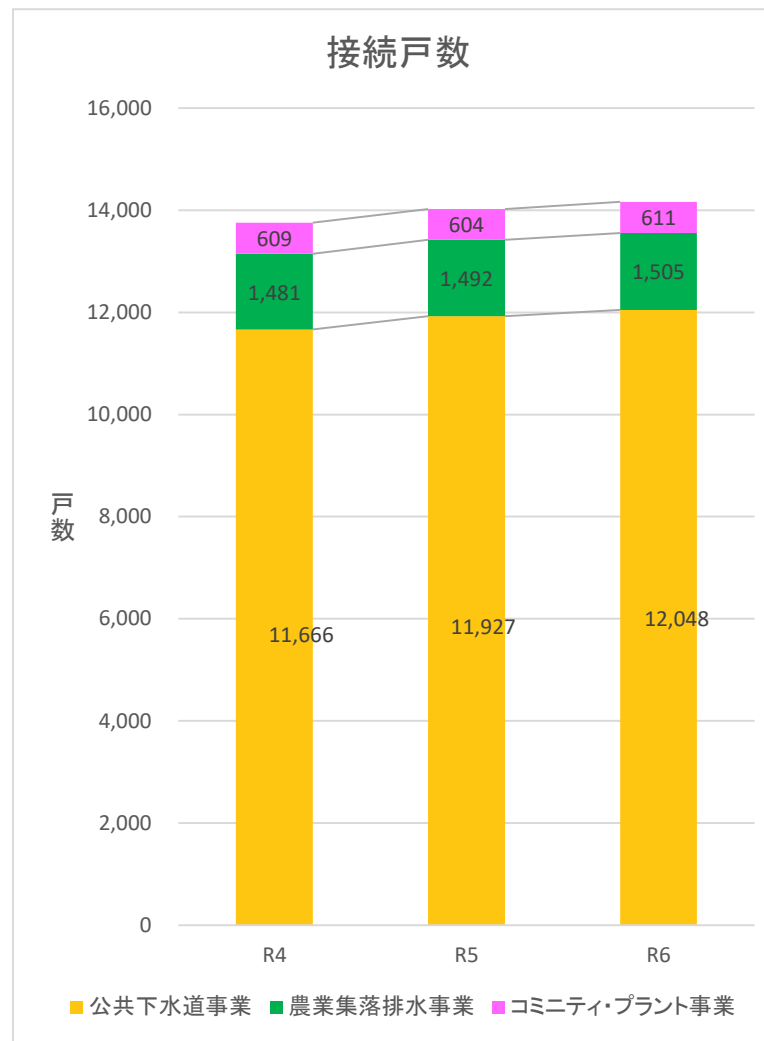
青木地区
狸穴住宅地区

つくばみらい市の下水道にはつくばみらい市上下水道課で整備・管理している上記3つの事業に加え、取手地方広域下水道組合で整備・管理している公共下水道事業・特定環境保全公共下水道事業があります。



2 事業状況について

(1) 排水処理区域内人口、接続戸数



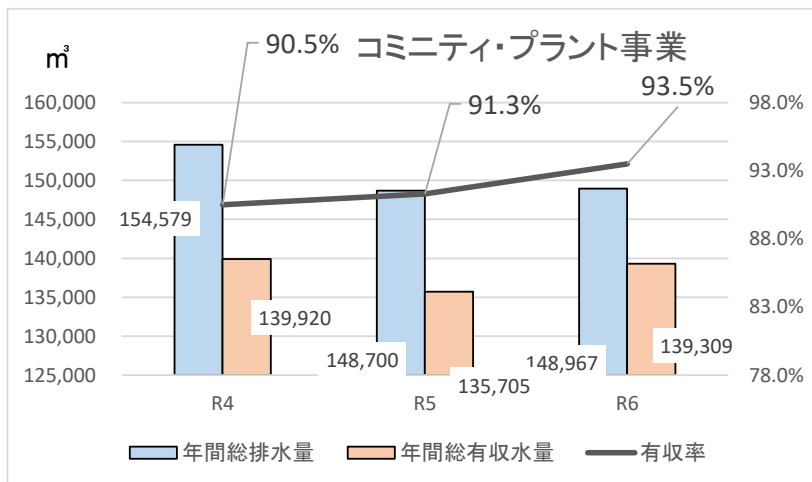
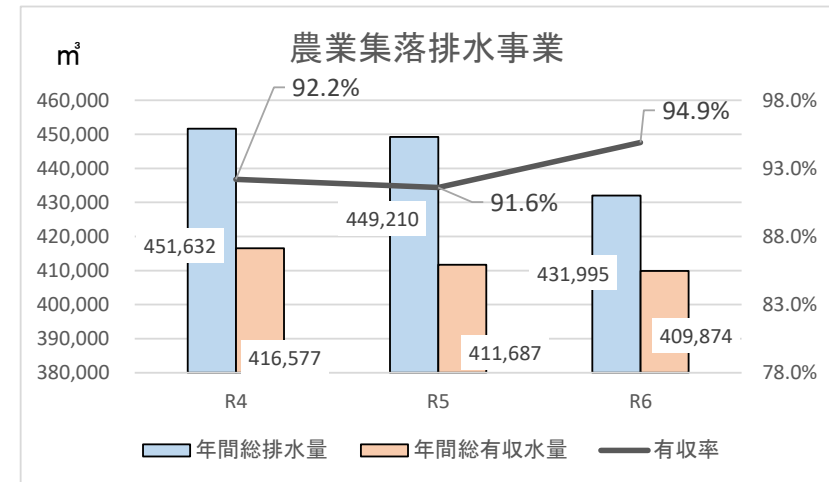
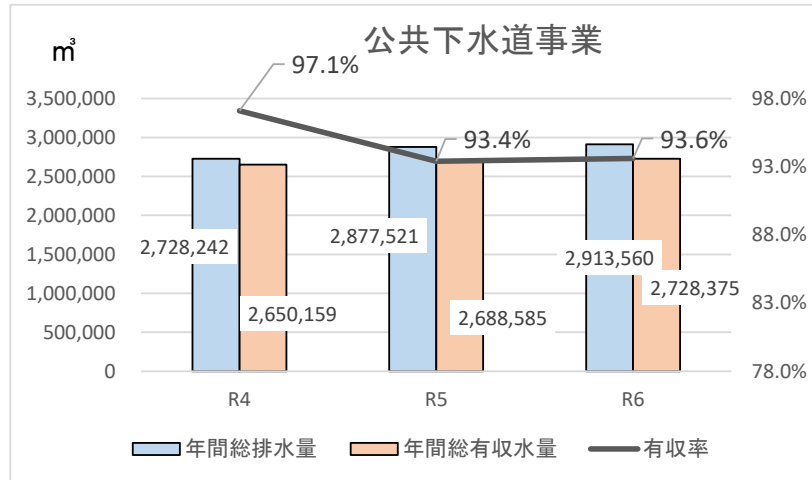
公共下水道事業では排水処理区域内人口、接続戸数共に増加しています。

農業集落排水事業では排水処理区域内人口は減少している一方で接続戸数は増加しています。

コミュニティ・プラント事業では令和6年度は排水処理区域内人口、接続戸数共に増加しています。



(2) 年間排水量、年間有収水量、有収率



- ・年間排水量…1年間に処理場で処理した汚水の量
- ・年間有収水量…1年間に処理場で処理した汚水量のうち下水道使用料徴収の対象となった水量
- ・有収率…年間有収水量を年間総排水量で除した率

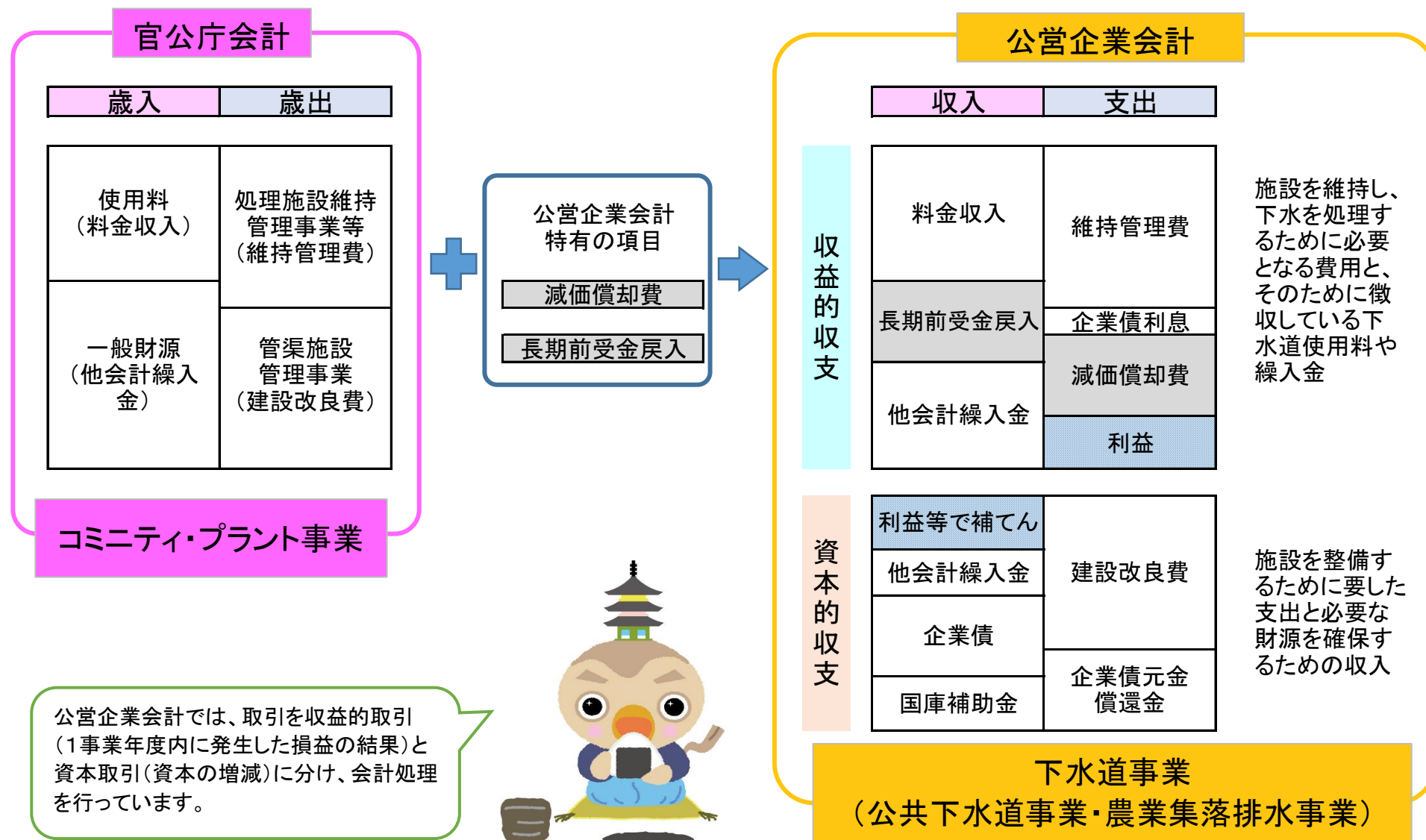
有収率が高いほど不明水が少なく、効率的な汚水処理がされていることを示します。

令和5年度と比較すると、公共下水道、農業集落排水及びコミュニティ・プラントのすべての事業の有収率が向上しています。
 管渠改修工事などの事業効果が上がっていると推測されます。
 有収率の令和5年度の全国平均は公共下水道80.8%、農業集落排水事業89.1%となっており、全国平均と比べて高い値となっています（有収率の令和6年度の全国平均は現時点では公表されておりません）。



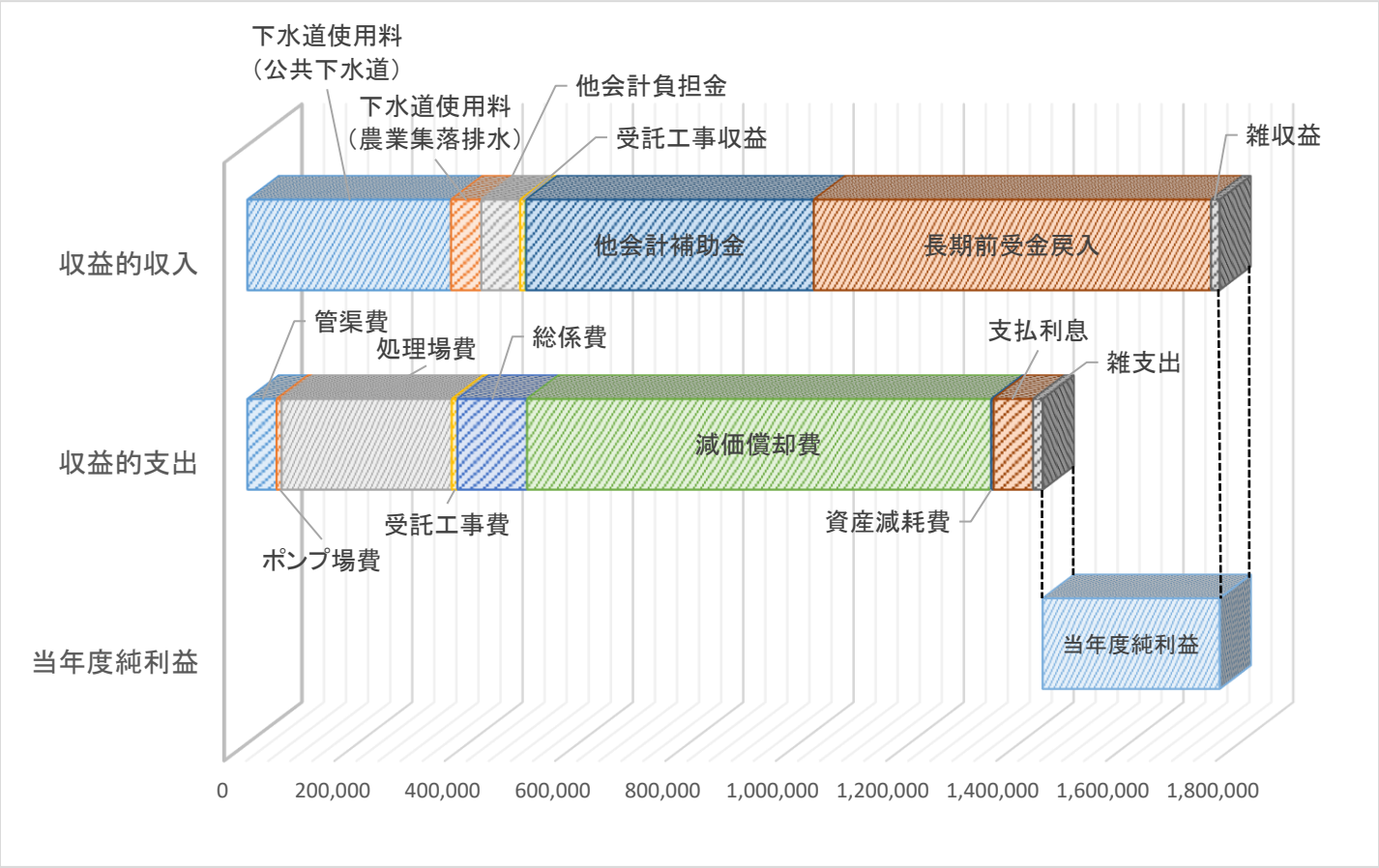
3 経営状況について

(1) 官公庁会計と公営企業会計



(2) 下水道事業（公共下水道事業、農業集落排水事業）
収益的収支

《損益計算書》
施設の維持や管理などの収支



収益的収入 (税抜) (千円)	
下水道使用料 (公共下水道)	369,042
下水道使用料 (農業集落排水)	54,795
他会計負担金	70,336
受託工事収益	10,045
その他営業収益	15
受取利息	588
他会計補助金	521,656
長期前受金戻入	722,448
雑収益	15,317
特別利益	427
合計	1,764,669

収益的支出 (千円)	
管渠費	52,768
ポンプ場費	8,996
処理場費	308,573
受託工事費	10,045
総係費	126,297
減価償却費	841,802
資産減耗費	4,330
支払利息	71,906
雑支出	17,524
その他の特別損失	0
合計	1,442,241

(千円)	
当年度純利益	322,428

収益的収入

—

収益的支出

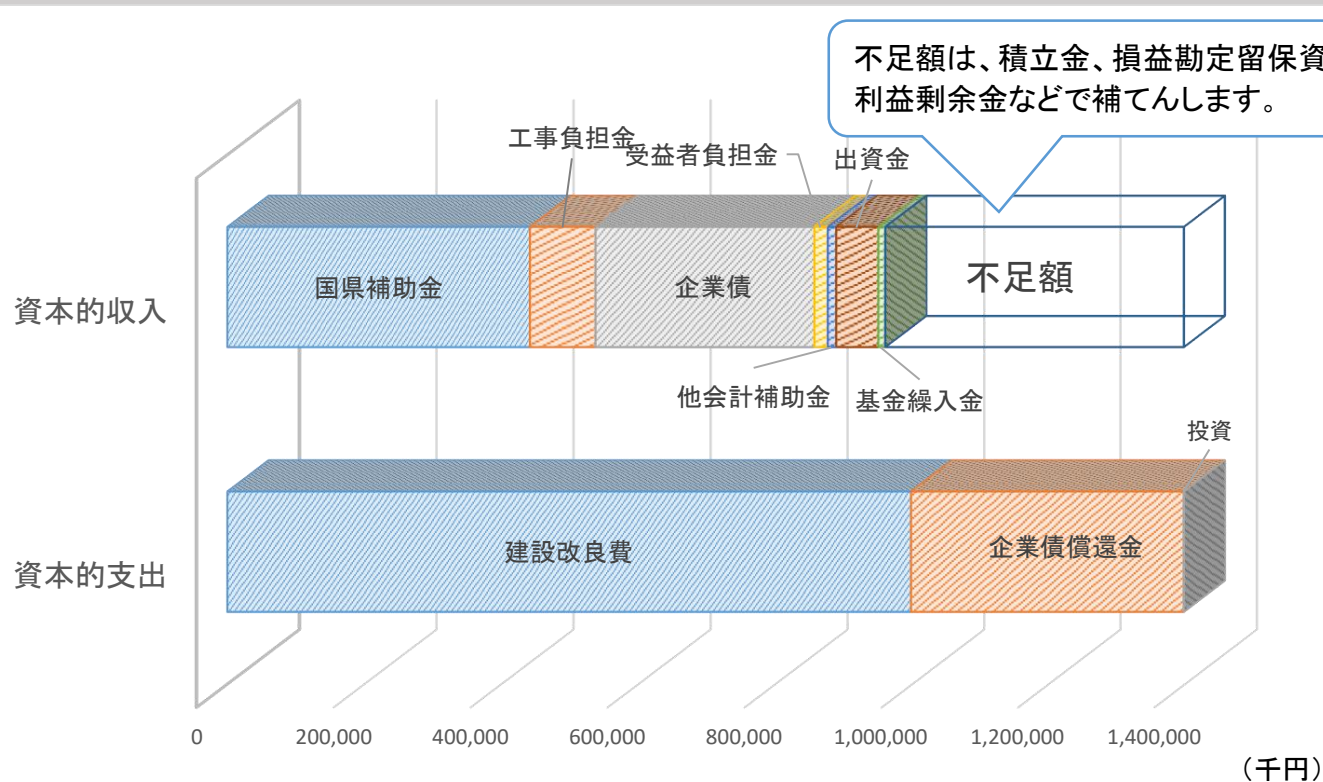
=

322,428

(当年度純利益)

資本的収支

施設の整備・改良をするための収支



公営企業会計では資本的収入と資本的支出を比較すると、資本的支出の方が多くなるのが一般的です。
 そのため、右記のような「補てん財源」によりその不足額を補っています。
 右記の額を使用した後の、令和6年度末の補てん財源の残高は629,012,942円です。



(税込)
 資本的収入
 (千円)

国県補助金	441,653
工事負担金	95,693
企業債	319,400
受益者負担金及び分担金	19,687
他会計補助金	12,175
出資金	61,496
基金繰入金	10,000
合計	960,104

資本的支出
 (千円)

建設改良費	997,795
企業債償還金	400,028
投資	256
合計	1,398,079

(千円)
 不足額 437,975

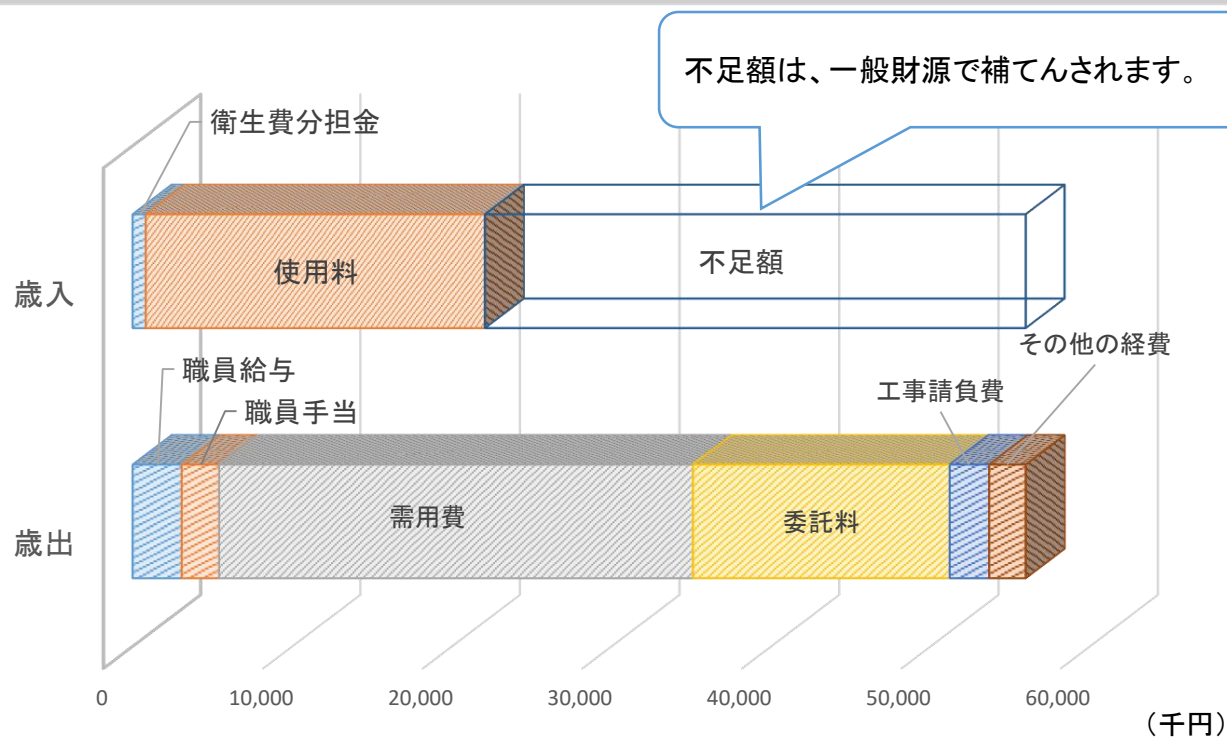
【補てん財源】
 (千円)

繰越工事資金	0
減債積立金	272,030
建設改良積立金	3,383
消費税等資本的収支調整額	38,878
損益勘定留保資金	123,684
引継資金	
引継未収金	
当年度利益剰余金	
合計	437,975

$$\text{資本的収入} - \text{資本的支出} = 437,975 \text{ 千円 (不足額)}$$

(3) コミュニティ・プラント事業

施設の維持や管理などの収支



歳入 (税込) (千円)	
衛生費分担金	820
使用料	21,245
合計	22,065

歳出 (千円)	
職員給与	3,077
職員手当	2,340
需用費	29,686
委託料	16,100
工事請負費	2,475
その他の経費	2,292
	55,970

(千円)	
不足額	33,905

$$\text{収益的收入} - \text{収益的支出} = 33,905 \text{ 千円 (不足額)}$$

(4) 令和6年度決算状況資料

税抜

下水道事業【収益の収支】

単位:千円

			令和6年度	令和5年度	増減	説明
収益的収入	収益的収入	1. 営 業 収 益 (A)	504,233	498,487	5,746	
		(1) 料 金 収 入	423,837	418,382	5,455	公共 369,042、農集 54,795
		(2) 受 託 工 事 収 益 (B)	10,045	9,530		
		(3) そ の 他	70,351	70,575	△ 224	
		2. 営 業 外 収 益	1,260,009	1,340,881	△ 80,872	
		(1) 補 助 金	521,656	612,048	△ 90,392	
		他 会 計 補 助 金	521,656	612,048	△ 90,392	市一般会計より
		そ の 他 補 助 金				
		(2) 長 期 前 受 金 戻 入	722,448	722,501	△ 53	
		(3) そ の 他	15,905	6,332	9,573	
		2. 特 別 利 益	427	0	427	貸倒引当金戻入益
		収 入 計 (C)	1,764,669	1,839,368	△ 74,699	
	収益的支出	1. 営 業 費 用	1,352,811	1,389,194	△ 36,383	
		(1) 職 員 給 与 費	53,824	55,130	△ 1,306	
		基 本 給 給	33,681	33,970	△ 289	
		退 職 給 付 費				
		そ の 他	20,143	21,160	△ 1,017	職員手当
		(2) 経 費	452,855	485,249	△ 32,394	
		委 託 料	232,725	244,654	△ 11,929	施設管理に係る委託料等
		動 力 費	82,567	81,466	1,101	施設電気料
		修 繕 費	75,102	71,162	3,940	
		材 料 費	0	347	△ 347	
		そ の 他	62,461	87,620	△ 25,159	賃借料、負担金等
		(3) 減 価 償 却 費	841,802	828,990	12,812	
		(4) 資 産 減 耗 費	4,330	19,825	△ 15,495	
		2. 営 業 外 費 用	89,430	96,170	△ 6,740	
		(1) 支 払 利 息	71,906	76,373	△ 4,467	企業債償還利子
		(2) そ の 他	17,524	19,797	△ 2,273	消費税等
支出	支 出 計 (D)	1,442,241	1,485,364	△ 43,123		
	経 常 損 益 (C)-(D) (E)	322,428	354,004	△ 31,576		
	特 別 利 益 (F)	0	0	0		
	特 別 損 失 (G)	0	0	0		
特別損益	(F)-(G) (H)	0	0	0		
	当 年 度 純 利 益 (又 は 純 損 失) (E)+(H)	322,428	354,004	△ 31,576		

税込

下水道事業【資本的収支】

単位:千円

			令和6年度	令和5年度	増減	説明
資本的収支	資本的収入	1. 企業債	319,400	359,000	△ 39,600	下水道事業債
		うち資本費平準化債				
		2. 他会計補助金	12,175	12,113	62	市一般会計より
		3. 出資金	61,496	51,300	10,196	市一般会計より
		4. 国（都道府県）補助金	441,653	249,227	192,426	
		5. 固定資産売却代金				
		6. 工事負担金	115,380	38,000	77,380	工事負担金、受益者負担金
		7. その他	10,000	10,000	0	基金繰入金
		計 (A)	960,104	719,640	240,464	
		(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)				
	資本的支出	純計 (A)-(B) (C)	960,104	719,640	240,464	
		1. 建設改良費	997,795	726,139	271,656	
		うち職員給与費				
		2. 企業債償還金	400,028	438,075	△ 38,047	
		3. その他	256	29	227	基金積立金
		計 (D)	1,398,079	1,164,243	233,836	
	資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (D)-(C) (E)		437,975	444,603	△ 6,628	
補てん財源		1. 損益勘定留保資金	123,684	126,730	△ 3,046	
		2. 利益剰余金処分額	0	43,921	△ 43,921	
		3. 繰越工事資金				
		4. その他	314,291	273,952	40,339	
		計 (F)	437,975	444,603	△ 6,628	

税込

コミュニティ・プラント事業(一般会計)【歳入】

単位:千円

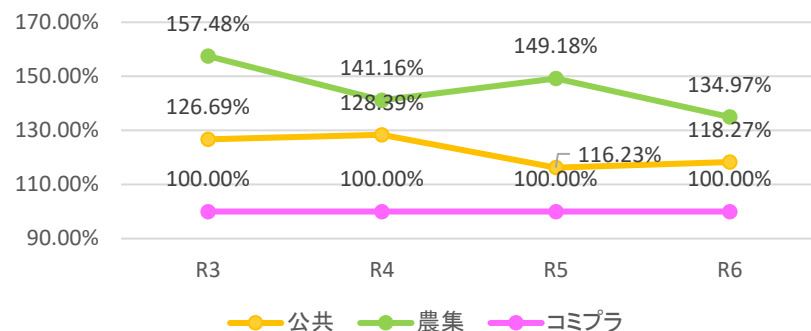
款	項	目	令和6年度	令和5年度	増減	説明
12 分担金及び負担金	1 分担金	1 衛生費分担金	820	1,070	△ 250	受益者分担金
13 使用料及び手数料	1 使用料	3 衛生使用料	21,244	20,401	843	現年20,741、過年503
20 諸収入	5 雑入	3 弁償金	0	0	0	
合 計			22,064	21,471	593	

コミュニティ・プラント事業(一般会計)【歳出】

款	項	目・節	令和6年度	令和5年度	増減	説明
4 衛生費	2 清掃費	3 生活排水対策費	55,970	46,629		
		2 給料	3,077	2,789	288	
		3 職員手当等	2,340	2,138	202	
		4 共済費	893	824	69	
		10 需用費	29,686	20,321	9,365	光熱水費、修繕料
		11 役務費	134	131	3	通信運搬費、保険料
		12 委託料	16,100	15,820	280	施設維持管理委託料等
		13 使用料及び賃借料	1	1	0	土地借上料
		14 工事請負費	2,475	3,324	△ 849	マンホール段差補修・公柵交換工事
		15 原材料費	0	0	0	
		17 備品購入費	0	0	0	
		18 負担金、補助及び交付金	1,264	1,281	△ 17	使用料収納事務負担金
		22 償還金、利子及び割引料	0	0	0	
合 計			55,970	46,629	9,341	
歳入歳出差引			△ 33,906	△ 25,158	△ 8,748	

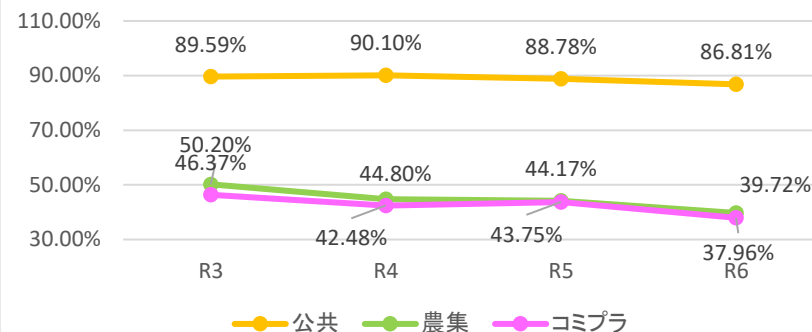
(5) 経営指標

経常収支比率



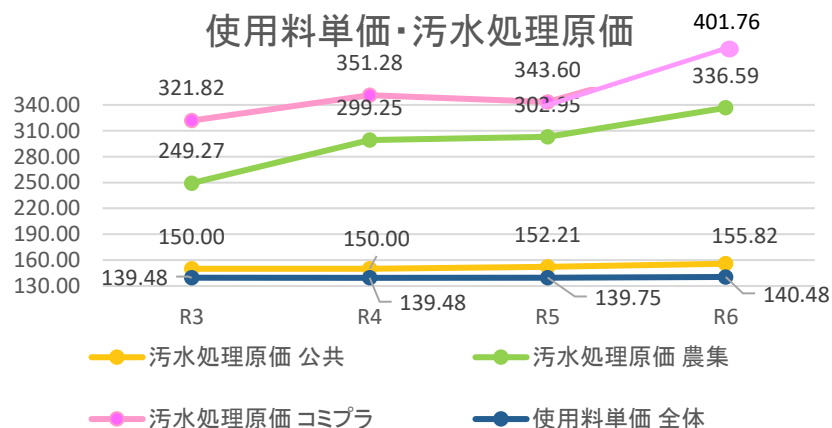
経常収支比率(%)＝経常収益÷経常利益×100
 使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で維持管理や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを示す指標。100%以上であれば単年度の収支が黒字であることを示す。

経費回収率



経費回収率(%)＝下水道使用料÷汚水処理費(公費負担分を除く)×100
 使用料で回収すべき経費をどの程度賄えているかを示す指標。100%を下回っている場合汚水処理にかかる費用が使用料収入以外の収入により賄われていることを意味する。

使用料単価・汚水処理原価



使用料単価(円)＝使用料収入÷年間有収水量
 有収水量1㎡あたりの使用料収入。
 汚水処理原価(円)＝汚水処理費(公費負担分を除く)÷年間有収水量
 有収水量1㎡あたりの汚水処理に要した費用。

経常収支比率100%以上かつ経費回収率が100%未満という場合は使用料収入以外の収入で経費を賄っていることを示しています。

つくばみらい市下水道事業は経費回収率が100%を下回っており、使用料の不足分を一般会計からの繰入金で賄っているのが現状です。

左の使用料単価・汚水処理原価の表では使用料単価と汚水処理原価の差を表しています。特に農業集落排水事業とコミュニティ・プラント事業の汚水処理原価が使用料単価に比べて高いことがわかります。



4 事業概要について

未普及対策事業

◆事業の概要

未整備地区において、下水道管の布設工事を行いました。

◆効果

汚水を適切に排出することで、地域の生活環境の改善や環境保全が、できるようになります。令和6年度末の整備率は、88.2%となります。

◆事業内容

内 容	污水管布設工事（南地区） L=1,017.9m
	マンホールポンプ設置工事（南）

◆事業費

（税込み）

工事費	111,230 千円
	8,305 千円

◆整備状況

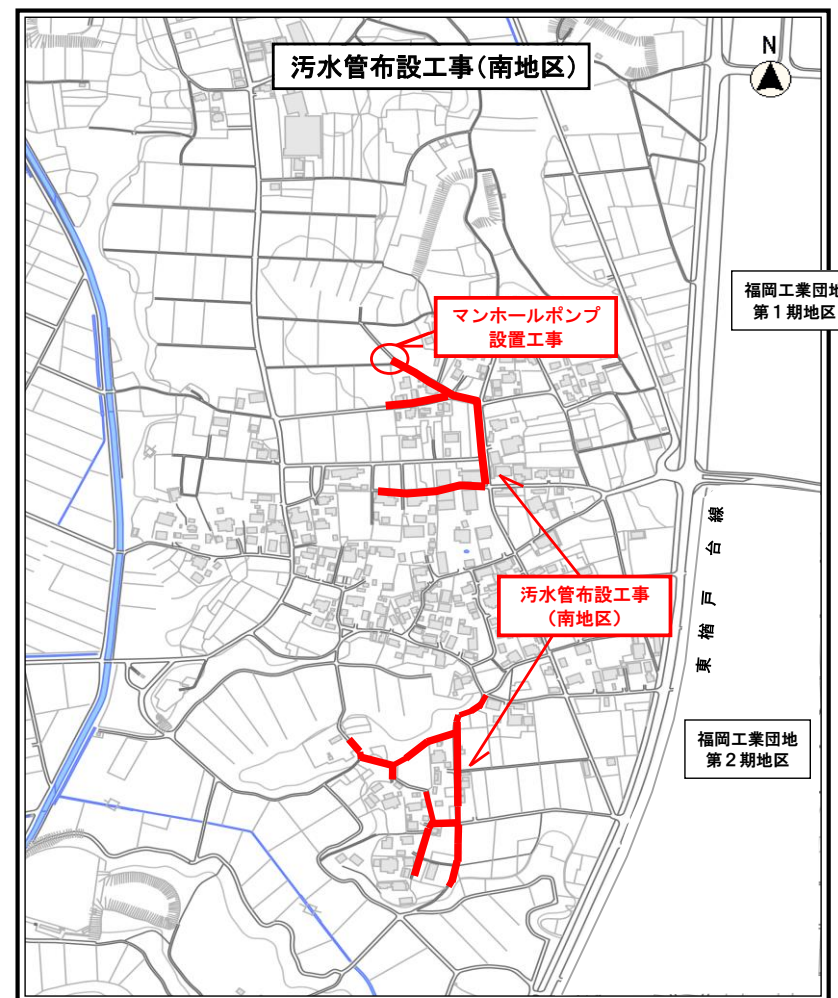
市上下水道課

	R4年度末	R5年度末	R6年度末
整備面積 (ha)	740.7	745.0	816.9
整備率 (%)	79.9	80.4	88.2

認可区域面積 926.5 ha

◆状況写真

《污水管布設工事(南)》



小絹水処理センター増改築工事

◆事業の概要

福岡工業団地第2期地区の開発に伴い、汚水量が増加することから、小絹水処理センター増改築のため、日本下水道事業団と協定を締結し、工事の発注を行いました。

◆効果

流入水量の増加等に伴い、現在の水処理施設では処理能力が不足するため、水処理施設の増改築により、処理能力の増強を図ります。

◆事業内容

内 容	小絹水処理センター水処理施設の増改築(土木、建築、機械、電気)工事
-----	-----------------------------------

◆事業費

(税込み)

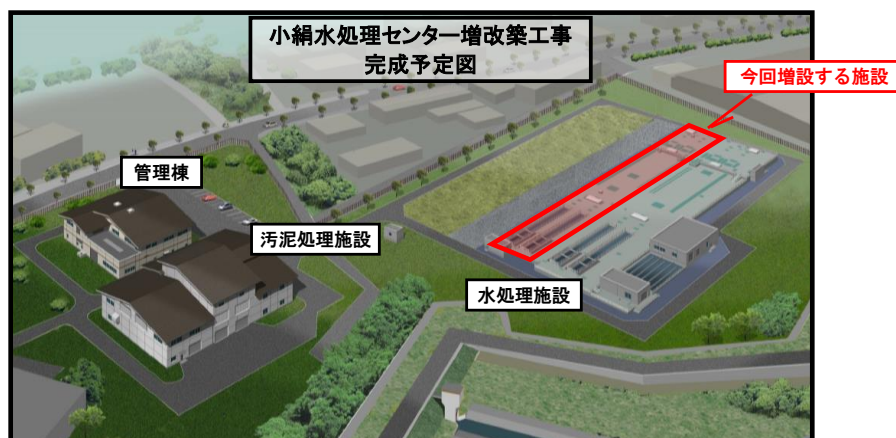
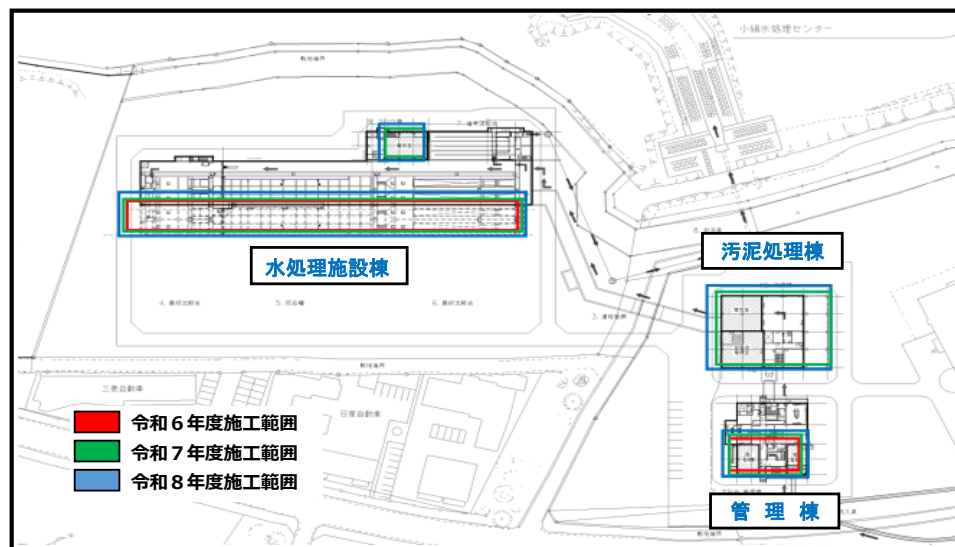
工事費	286,715 千円	※令和7年度に通次繰越
-----	------------	-------------

◆増設する施設

事業期間 令和6年度～令和8年度(3ヶ年継続事業)

事業内容 主ポンプ施設、分配槽、最初沈殿池施設、反応タンク施設、最終沈殿池施設、

送風機施設、汚泥濃縮施設、場内整備等の増設工事



福岡工業団地第2期地区関連事業(污水)

◆事業の概要

福岡工業団地第2期地区の開発に伴い、新たに発生する污水を排出するため、污水管の布設工事を行いました。

◆効果

污水を適切に排出することで、地域の生活環境の改善や環境保全ができるようになります。

◆事業内容

内 容	福岡南第2幹線污水管布設工事(南地区) L=685.6m
	マンホールポンプ設置工事

◆事業費

(税込み)

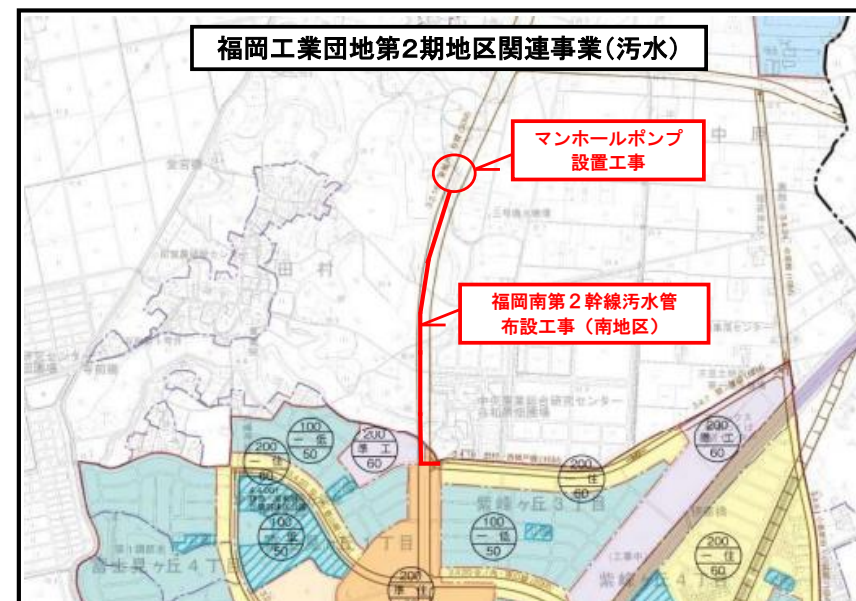
工事費	90,013 千円
	33,550 千円

◆状況写真

《污水管布設工事》



《マンホールポンプ設置工事》



福岡工業団地第2期地区関連事業(雨水)

◆事業の概要

福岡工業団地第2期地区の開発に伴い、新たに雨水調整池が整備されたことにより、流末排水路が必要となるため、雨水函渠布設工事を行いました。

◆効果

調整池から雨水を排出するための函渠を整備することで、浸水被害の軽減を図ります。

◆事業内容

内 容	福岡地区幹線雨水放流渠布設工事 L=134.3m
-----	--------------------------

◆事業費

(税込み)

工事費	141,361 千円
-----	------------

◆状況写真

《雨水放流渠布設工事》



農業集落排水施設維持管理適正化計画策定業務

◆事業の概要

農業集落排水施設の計画的・効率的な保全と改築・更新を目的とした計画策定を行いました。

◆効果

老朽化施設の更新整備において、将来の維持管理の観点から検討し、現状の社会情勢等を踏まえ、それぞれの地域に合った施設の維持管理の効率化・適正化を図ります。

◆事業内容

内 容	維持管理適正化計画策定業務(弥柳)
-----	-------------------

◆事業費

(税込み)

委託料	6,017 千円
-----	----------

◆污水处理施設一覧

令和6年4月1日

処理施設名	計画処理人口(人)	計画汚水量(m ³ /日)	ポンプ施設(箇所)	管理延長(km)	供用開始	経過年数
福岡	2,000	540	17	9.2	平成7年6月	29
十和	2,650	716	30	17.5	平成10年6月	26
下小目	930	252	5	11.5	平成14年7月	22
高岡狸穴	910	245	10	9.1	平成16年11月	20
豊南部	750	300	7	7.3	平成19年4月	17
三島	890	241	21	15.2	平成26年4月	10
上平柳	390	105	3	2.5	平成5年10月	31
弥柳	540	145	3	3.4	平成7年7月	29

《弥柳処理場 全景》

